

時計Begin

TOKEI

別冊付録②
ブランド別 完全カタログ
Vol.14 ベル&ロス

2019
AUTUMN

和元年の今が買い!

一生モノとその理由

取りたくない貴方へ贈る!

人気ブランドの真本命

の工房へ行ってきた!

モーザー

the Tokei Begin
RESTIGE

カール F. ブヘラ



別冊付録①

300年続いた時計の常識が今、ついに覆る!?

ゼニス

デファイ インベーターで歴史の証言者となれ!

妥協じゃなくて
創意と工夫!

納得価格の嬉しい時計

"総高級化"の終焉! CP値に優れる"嬉しい"時計が出揃ってきた!



'60年代の初代モデルと同様、よりシンプルな印象が際立つパーインデックスのバリエーションも展開されている。ブラックのカーフストラップを採用。その他の仕様は下のモデルと同じ。11万円。



Since
1961~

手がけた
ミニマル時計
の巨匠が
バウハウスの

ユンハンス JUNGHANS

マックス・ビル ハンドwind

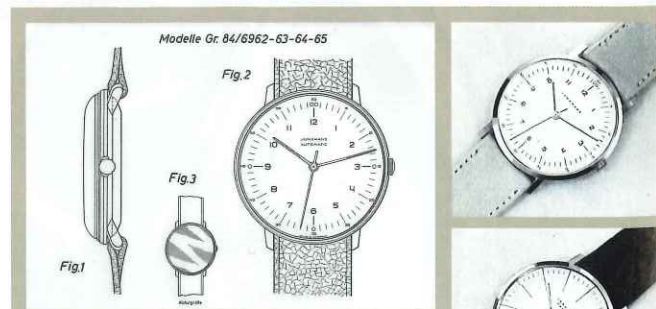
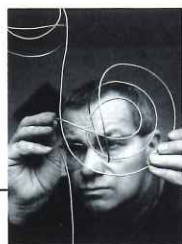
今年開校100周年を迎えるバウハウスで1927年から2年間学んだマックス・ビルが、1961年に製作したモデル。フォルムや文字盤の書体など、バウハウス直系の簡潔なモダニズムが遺憾なく発揮された永世定番だ。手巻き。径34mm。SSケース。カーフストラップ。防汗仕様。11万円。◎ユーロパッション



ルーツとなったキッチンタイマー

マックス・ビルが1956~'57年に手がけたキッチンタイマーは、斬新なフォルムで人気に。のちに発表され、ニューヨーク近代美術館 (MoMA) の永久収蔵品にもなったウォールクロックや、腕時計につながる彼の原点だ。

マックス・ビルは1908年、スイス生まれ。1925年にル・コルビュジェの講義をきっかけに建築を学び始め、2年後、バウハウスが全盛期だったデッサウ校に入学した。



"一生モノ"の理由

機能性を尊重した 一切無駄のないデザイン

上はマックス・ビルがユンハンスの依頼で腕時計のデザインに着手した際のスケッチで、極細のペセルやペンシル針など、現行とほぼ同じ。彼のキャリアの原点となったバウハウスは、余計な装飾を排し、機能を完全に発揮できる形状こそが美しいとする「機能性至上主義」だった。



発売がスタートした翌年、1962年にユンハンスが製作したカタログ。当時のモデルはケースサイズが現行モデルより0.5mm大きな34.5mm径で、インデックスは現行と同様、アラビア数字とバータイプがラインナップしていた。

19 72年開催のミュンヘンゲームで公式タイムキーパーを務めたユンハンス。この伝統あるドイツブランドから、「赤」がポイントの記念すべき2つの日本限定モデルが登場した。

限定の新作はいずれも自社製のラジオコントロールムーブメントを搭載した電波時計だ。じつはユンハンスはこのジャンルにおけるパイオニアの存在で、1990年に世界初の電波式腕時計「メガ1」を開発している。今回採用した最新式のCal. J101.65は、1日に針位置が1440回自動修正され、リュース操作で世界中のタイムゾーン設定が可能に。また、アプリを活

用したスマートな時間設定もできる。

デザイン面では「マイスター メガ ジャパン リミテッド 2020」が文字盤に世界地図を擁したクラシカルタイプ。一方、シンプルモダンな「フォーム メガ ジャパン リミテッド 2020」は、ケースバックに世界地図と電波受信のインストラクションを大きく表した。さらに、前者は地図上の日本を赤色で塗り、後者は秒針や数字などに赤の差し色を施すことで、来る2020年を祝っている。

パイオニアによる高性能な最新電波時計で、しかも貴重な日本限定品だけに、これは手に入れておきたいところだ。



ジャパンレッドが
世界の中心!?

アプリを使って秒単位まで管理!
ユンハンスの電波時計に
赤い「日本限定2連発!!」

**フォーム メガ ジャパン リミテッド 2020
赤を効かせたシンプルモダン**

ライジングサンをイメージした紅白カラーの文字盤を採用。ケース裏に世界地図をデザイン。電波Cal.J101.65搭載。径39.3mm。SSケース。カーフストラップ。限定202本。11万8000円。



**ユンハンス
JUNGHANS**

**マイスター メガ ジャパン リミテッド 2020
世界地図をまとうクラシカル**

自社生産のラジオコントロールムーブメントを搭載。電波受信による正確な時刻表示が可能に。文字盤上の世界地図は、日本を赤く色付けすることで2020年を祝う。径38.4mm。SSケース&ブレスレット。限定202本。18万円。☉ユーロパッション